

宮城のうたごえ協議会ニュース8号 2023.1.15 宮城のうたごえ協議会

〒983-0841 仙台市宮城野区原町3-8-3 内海ビル3階 FAX 022-762-5971

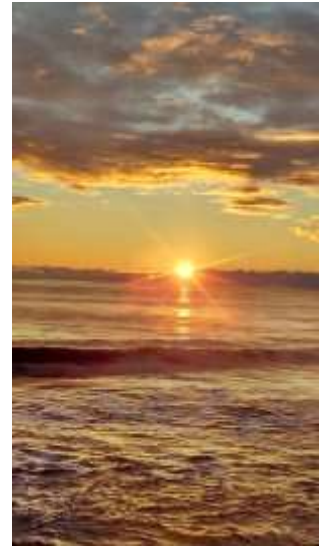
日本のうたごえ75周年～平和のうたごえ響かせましょう！

宮城のうたごえ協議会会長 齊藤 智子

新年おめでとうございます。2023年の宮城のうたごえとしての仕事始めは、地下鉄富沢駅前での9条の会のティッシュ配りでした。晴れ着を着て「はたちの集い」に参加する若者たちが希望に満ちた人生を歩めるようにとの願いを込めての活動でした。

昨年は3年目となったコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻等生活や平和が脅かされた1年でした。その中で様々な活動を行いながら、「小林康浩さん ありがとうコンサート」を成功させることができました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

2023年は、日本のうたごえ75周年です。「戦争する国への準備」を画策する勢力に対して、「生きる力」「平和の力」としての歌声をコロナに負けずに、響かせていきましょう。



南相馬からの初日の出
(撮影：齊藤智子)

2023 宮うた総会・春まつり

2月26日(日) 太白区文化センター展示ホール

1月22日で、核兵器禁止条約発効2周年になります！

- ・核廃絶ネット発足2周年 記念イベント 1月20日(金)14時～福祉プラザ2階ふれあいホール
第1部 ピアノとチェロの演奏会 (稲垣達也さん・塚野淳一さん)
第2部 講演会「未来は私たちの手のなか」(林田光弘さん)
- ・1.22 平和行動 1月22日(日)12:00～ 平和ビル前 皆さん、参加を！

2.11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会 国際センター

～オープニング演奏、今年初の宮うた出演です。皆で参加しましょう！～

- ① We Shall Overcome ……楽譜は用意します
- ② 「あれから今も」(「おじいちゃんから孫たちへ」終曲) 原文 後藤東陽 作曲 小林康浩
後藤東陽さんを偲び、東陽さんの平和への強い想いを歌で届けましょう！
「おばあちゃんから孫たちへ～平和を語りつづぐ三部作」(1200円)に載っています。
指揮：松本康子氏 ピアノ：高橋侑子氏

＜2月11日の日程＞ 12:15 国際センター 大ホール 客席集合
体操・発声練習等
12:30 ステージリハーサル (～12:45)
13:20 本番演奏



＜事前の練習＞ 1月21日(土)10時～11時半 (いずれも、うたごえセンター)
2月5日(日)15時～16時
2月11日(土)10時～11時(紫金草開放)その後、国際センターに移動

「あれから今も」は、男声が主役です。男性の皆さんは、万障繰り合わせてご参加ください。
もちろん女性も大歓迎です。

山元こぐまサロンに参加して

どらごえサークル 吉田和子

山元こぐまサロンは、NPO 法人ポラリスが“障害のある人とない人が共に学び、共に生きる”をテーマに地域の様々な立場の人と作っている学びの場です。

私たちは、昨年に続いて「音楽を楽しみ、学ぶ～うたで学ぶ 平和のこと～」に、宮城白萩の会（退職女性教職員の会）中央支部の皆さんと参加しました。

第一部、宮城白萩の会20名の皆さんによる戦争についてのお話と演奏で、日本の15年にわたる戦争の歴史を学びました。ロシアによる軍事侵攻や日本も軍備拡大に舵を切ったことが連日報道されていたこともあり、戦争が今そこにある脅威に変わってきていることを会場全体が感じたようでした。

第二部、どらごえサークルは平日の10時という開催にも関わらず19名が参加。「北風小僧の寒太郎」の歌から始まり、旅姿の寒太郎が登場して第一部の重くなった雰囲気吹き飛ばしてくれました（白萩の会の中谷さんに感謝です）。昨年歌った曲を多くした選曲も良かったようで、「そうれっしゃがやってきた」や「ピースサイン」では会場の皆さんが体を動かし、踊って下さいました。最後に「365日の紙飛行機」を歌い、みんなで紙飛行機を飛ばしました。♪人は思うよりもひとりぼっちじゃないんだ すぐそばの優しさに気づかずにいるだけ♪「365日の紙飛行機」の歌詞を会場の皆さんと共にかみしめ、温かい気持ちに満たされて終了しました。



← 第一部 白萩の会
→ 第二部 どらごえサークル



男の合唱まつりに D51 合唱団が出演

→

9日はD51の歌い始めでしたが気持ちよく2023年がスタートできました。スタンバイしていた客席の真ん前が佐賀慶子先生で、びっくりでした。演奏後に佐賀先生から「みんつくの時と全然違ってびっくり！」と誉めていただきました😊一年間歌ってきた二曲なので自信をもって歌えました👍（D51 立山昭仁）



日本のうたごえ交流会 in あいち 音楽会に参加して感じたこと

バックツァーちゃん、素晴らしかったです。同時に愛知のうたごえがこれまで積み重ねて来た歴史の重みを感じました。脚本、作詩・作曲、歌い手、伴奏者、振付等を担う人材がいなければできない訳で、そういった人材をこれまで作り上げて来た取り組みの積み重ねが素晴らしいと思いました。持続可能なうたごえ運動のために次世代を担う人材をいかに育てるかが大事だと思いますので、今後取り組んでいかななくてはなりません。（仙台合唱団 熊谷和男）

↓立山さんがスピーカーを寄付してくださいました。



藪田さんが磨いてくれた換気扇 →
ピカピカですね。窓の棧や、エアコンのフィルターもきれいにお掃除。

お二人に感謝！ありがとうございました。

